

1. 基本理念

＝ キラキラかがやくひとみ ＝

- ・ 利用者の方々にあふれる笑顔で対応し、
キラキラかがやくひとみになれるサービスを提供します
- ・ 地域とより良い関係を築き、
キラキラかがやくひとみであふれる地域づくりに貢献します
- ・ 全ての職員が仕事にやりがいを感じ、向上心を持ち、
キラキラかがやくひとみで働ける法人であり続けます

2. 中期計画 (平成29年度～平成31年度)

基本理念に基づいて法人の方針・目標・方策を掲げ、中期計画を策定しています。

方針	目標	方策
信頼される法人	<ul style="list-style-type: none">・ コンプライアンス（法令遵守）を基本とし、福祉の心をもって法人経営を行います・ 利用者の人権を尊重し、最善の処遇に務めます	<ul style="list-style-type: none">・ 人権の尊重・ サービスの質の向上・ 生活環境・利用環境の向上・ コンプライアンスの徹底・ 組織統治の確立・ 健全な財務規律の確立・ 経営者としての役割
地域に根ざす法人	<ul style="list-style-type: none">・ 地域と共に歩み、地域に必要とされる法人を目指します・ 地域社会のニーズを的確にとらえ、積極的な社会貢献を行います	<ul style="list-style-type: none">・ 地域との関係の継続・ 地域における公益的な取組の推進・ 信頼と協力を得るための情報発信
組織力のある法人	<ul style="list-style-type: none">・ すべての職員が宮崎福祉会の一員であることを自覚し、お互いを認め合い信頼しあえる法人を目指します・ 常に向上心をもち、個々の能力を発揮できる活気あふれる職場づくりを目指します	<ul style="list-style-type: none">・ トータルな人材マネジメントの推進・ 人材の確保に向けて取り組みの強化・ 人材の定着に向けて取り組みの強化・ 人材の育成

3. 事業計画

中期計画に基づき各施設の重点課題を掲げ、課題を解決するための具体的取り組みを平成29年度事業として計画し、事業実施に努めます。

< 本 部 >

方針

方針	重点課題	具体的取り組み
信頼される法人	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールに対する適切な認識を図ります ・災害時の事業継続計画の整備を図ります ・職員及び利用者やその家族等の参加による改善の取組みと確認を実施します ・財務状況等を把握し、健全化に努めます ・長期計画の策定を進めていきます 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 制度委員会でコンプライアンス規程・マニュアル策定・体制を構築します 2. BCP策定委員会の立ち上げを行い、研修参加・策定の勉強会を行い、各施設毎の状況を踏まえ、また、各施設連携を取しながら作成を進めます 3. 広報委員会で利用者の家族等の参加のあり方を考え、アンケート調査内容を作成・調査を実施して意見の把握をし、改善すべき事項等は全施設で共有し、レベル向上を図ります 4. 自己報告書により、法人事業等の改善とその取り組みについて問いかけ意見を聴収します 5. 財務関係等の研修への参加や職務毎の勉強会を実施したり、各施設の年間予算の積算の仕方を検討し、予算管理ができるよう会計責任者の勉強会を行い健全化に努めます 6. 各施設の年間予算の積算の仕方を検討し、予算管理ができるよう会計責任者の勉強会を実施し健全化に努めます 7. 内部監査の回数を増やし、透明性を図ります 8. 公認会計士等に相談し、外部監査の準備を進め外部監査を受けます 9. 長期計画の策定に関する研修等に参加し、準備を行います 10. 各施設の施設整備計画を専門家に相談し、長期計画策定の準備を行います 11. 各施設の10年後の在り方を考える機会を設け、将来像を確立し、施設整備計画も合わせ、長期計画を策定していきます
地域に根ざす法人	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能の活用を推進します ・多様な社会福祉援助ニーズの把握に努めます ・地域を包括する公益的取組み推進に取り組みます ・情報の管理を徹底します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人として、各施設のサービス状況等を詳細に把握し、各施設の地域向けに、その情報の発信方法を広報委員会で検討実施につなげていきます 2. 広報委員会で広報誌・情報誌を充実させるとともに、周知方法も改善していきます 3. 施設機能の活用を推進するため、HPへの掲載に取り組めます 4. 広報委員会で援助ニーズの把握方法を検討します 5. みやざき安心セーフティネット事業の推進に法人全体で取り組みます 6. 広報委員会・イベント企画委員会・施設長会で公益的取組み推進について検討する機会を設けたり、研修等への参加を行い情報収集を行い、公益的取組みが具体化できるよう推進する 7. 地域協議会との連携が図れるよう関係性を構築していきます 8. サービス提供等に係る記録(利用者・職員も含む)等の保管方法を把握し、個人情報漏洩をしない方法を検討し、個人情報等の適正な保管の方法を確立します 9. 情報漏洩対策セキュリティソフトの最新の情報収集を常に心がけ情報漏洩のないよう最善を尽くします
組織力の	<ul style="list-style-type: none"> ・横の連携の推進を図る ・福祉人材の確保に努める 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外研修等で各施設職員との交流の機会を作り、横のつながりを構築します 2. 各施設の施設機能を知る機会を作り、職員同士がお互いの施設機能に応じた連携ができるよう取り組みます 3. 施設見学・ボランティア受け入れ方を振り返り、案内・受け入れ方について再検討し、充実させていきます 4. 入社して間もない職員の意見を聞き、HPの採用・求人ページを見直し、充実させます 5. 研修委員会でキャリアパス表を見直し、再構築を行います 6. 個別研修計画表を作成し、職員自身が目的を持って研修に参加ができるようにします

ある法人	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー層の育成を行います ・職員の安全と健康の確保に務める ・非正規職員への配慮を行う 	<p>7. リーダー層の職員に、その立場の役割と自身の将来像を考える機会をつくり、法人外研修へ積極的に参加させ、情報収集を行い幅広い視野を持てるようにしていきます</p> <p>8. 制度委員会で労災防止策(腰痛・メンタルヘルス等)について検討し、防止策の研修等を行うとともに、情報誌で防止策について周知します</p> <p>9. 管理職のハワハラ・セクハラ等についての正しい知識を学ぶ機会を設け、ハワハラ・セクハラ等防止について職員へ周知します</p> <p>10. 職員の健康診断受診を促し、健康情報を周知していきます</p> <p>11. 職員処遇等について専門家に相談する体制を整え、制度委員会で労基法遵守とともに処遇改善を進め規程を見直していきます</p> <p>12. 他法人の非正規職員の状況把握をするとともに、非正規職員の面接を行い法人の状況を分析します、改善点を探ります</p> <p>13. 無期契約職員制度への対応を検討し進めていきます</p>
------	---	---

行事予定

月	法人行事	月	地域行事等
4月	法人内研修(新人職員・キャリアアップ)、新規正規職員視察研修	4月	
5月	法人内監査、法人内研修(施設長)	5月	
6月	理事会(監事同席)、評議員会、法人内研修(施設長)	6月	就職フェア参加
7月	全体研修会、法人内研修(主任・男性職員)	7月	市民総踊りへの参加
8月	第三者委員会、法人内監査	8月	福祉の仕事就職面接・説明会参加
9月	全体研修会、法人内研修(調理)	9月	
10月	法人内研修(一般・キャリアアップ)、理事会(監事同席)	10月	
11月	法人内研修(主任)、法人内監査	11月	
12月	事務研修会	12月	
1月	人事ヒアリング	1月	
2月	理事会(監事同席)、第三者委員会	2月	
3月	新規採用者説明会、理事会、退職辞令交付式、辞令交付式	3月	
月例	施設長会(奇数月)	月例	
随時	制度委員会・研修委員会・広報委員会(施設長)・財務関係勉強会(職務毎) イベント企画委員打合せ・広報担当者打合せ・BCP策定委員会(職員)、メンタルケア	随時	就職説明会等への参加、学生向け施設見学、法人情報誌の配布 学生ボランティアの活用

役職員に関する事項

月例	職員会議、ノー残業デーの実施
随時	法人内外研修会参加、法人内イベント参加、法人内各施設の行事参加、全国社会福祉法人経営青年会会議等への参加、職員健康診断、職員旅行、職員との面談

＜ 中 央 保 育 園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
----	------	--------

<p>信頼される保育園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営理念等における明確化を行います ・職員の教育・研修の充実を図ります ・第三者評価受診にともなう、業務手順・マニュアルを策定します ・快適な生活環境を実現します ・利用者が楽しみを感じられる日々の活動の提供を行います ・災害対策等に基づく実効性のある訓練の実施を行います 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員への周知を徹底します 2. 組織の強み、弱みに基づく課題の発見をし、弱みを強みに変えていきます(セブncross方式への取組み) 3. 法令、社会的ルールに関する研修等に参加し、職員への周知を徹底します 4. 研修計画を作成し、全職員が研修に参加することでスキルアップに繋がります 5. 意見交換のしやすい雰囲気をつくり園内研修を充実させる中、SNSの適切な利用の注意・換気もを行います 6. 職務分担を整備し、安定した運営に取り組みます 7. 指針に沿った保育計画を作成し、見直しもしていきます 8. 第三者評価項目についての共通理解を図り、結果を活かした取組みに繋がっていきます 9. 安全に衛生的に過ごすため、感染予防や安全点検マニュアルの整備を行います 10. 指針に沿った保育計画を作成し、「教育・養護」のある活動を基本とします 11. アレルギーや配慮の必要な子への栄養管理や保育計画等を個別に作成し、対応します 12. 防災訓練計画の見直し、専門家のアドバイスも受けます 13. 防災関係の研修に参加、防災士を養成します 14. 非常食の確認、確保を継続的にします
<p>地域に根ざす保育園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能を活用します ・情報管理を徹底します ・困難事例への取り組みをします ・地域から信頼される情報発信をします 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 和太鼓演奏等を通して地域の行事に積極的に参加し、園での行事に地域の方を招き交流を深めます 2. 子育て相談や園庭解放を継続で実施します 3. フィールドワークをします(学生の受け入れ・職場体験の場の提供) 4. Hpや便りの作成、メディアへの対応等で個人情報の取扱いに注意します(同意書) 5. 保育要録などの文書管理をおこないます(パソコンの入力統一化を徹底) 6. 地域との関わりの中での情報管理にも十分注意をします 7. 個別に配慮が必要とされる児童の受け入れについて、専門機関との連携をもちます 8. 児童の生活状況などを把握し救済に努める地域の状況にもアンテナを張ります 9. HPを通して園の方針等を明確にし、透明性を図ります 10. 自治会との連携をとります(自治会のHPを活用した情報発信等)
<p>組織力のある保育園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体系的な研修プログラムを構築します ・職員の安全と健康を確保します ・福祉人材の定着を図ります ・職員処遇の現状を把握・分析し、課題を抽出します ・期待する職員像を明確化します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 報、連、相を徹底し、全職員が連携し取り組める体系を構築します 2. 職員の自己評価を行い、職員一人ひとりが課題や新たな目標に気付き意識向上に繋がります 3. 業務以外にリフレッシュできる行事や研修に参加し、楽しい職場づくりを実施します 4. ラジオ体操などを日常に取り入れ、職員の気分転換や健康意識を図ります(腰痛や肩こり予防対策等) 5. 外部からの講師や、職員自身が講師となって特技を活かした研修会を行います 6. 家庭と仕事との両立のできる職場づくりをします(業務の計画性・相談しやすい環境づくり) 7. 仕事への喜びややりがいの感じられる職場づくりをします(職務分担の明確化・ojt の取組み) 8. フィールドワーク参加者へ福祉体験の喜び等を話す機会をもちます 9. 職員全体でそれぞれの立場を理解できるように環境づくりをします 10. 年休付与の分析やノー残業デー等の課題を把握し、改善に努めていきます 11. リーダー像を明確にするために、リーダー職育成の研修に参加後の全職員に明確化します(キャリアパス) 12. 話し合いの場での各職位やスキルに応じた業務内容を縦割り化します

行事予定

月	保育園行事	月	地域交流行事等
---	-------	---	---------

4月	入園・進級式、春の遠足(1・2組)、個人面談	4月	
5月	農業体験(芋の苗植え付け・農業大学校1組)、ふれあい運動ひろば(親子)、交通安全教室	5月	商業地区イベント参加
6月	保育参加日	6月	
7月	プール開き	7月	お星さまコンサート
8月	プール納め	8月	ちびっこ夏まつり(小学生との交流)
9月	防災訓練(消防署立ち会い)	9月	
10月	秋のウォーキング(3・4歳児)、キッズキッチン(5歳児)、ひかり輝け楽しい発表会	10月	西地区ふれあい運動会への参加、世代間交流、小学校訪問
11月	農業体験(芋掘り5歳児)、園外保育(木城のえほんの郷 5歳児)、保育参加Week(2W)	11月	西地区ふくしま祭り参加、郵便局イベント参加
12月	消防署見学(5歳児)、クリスマス会、冬のウォーキング(3・4・5歳児)	12月	高校生との交流、もちつき大会(交流)
1月	冬のウォーキング(3・4・5歳児)	1月	西地区成人式参加
2月	親子ふれあい『つぼみ “つないだ手とて”』、保育参加ウィーク、コスモランド教室(4歳児)	2月	
3月	春まつり、お別れ遠足、海幸山幸ツアー(5歳児)、お別れ会、卒園式『お祝いのつどい』・修了式	3月	春まつり(交流)、地域公園ゴミ拾い
月例	お弁当の日、発育測定、お誕生会、英語で遊ぼう、防災・防犯訓練、お歌で遊ぼう(3・4・5歳児) 和太鼓(4・5歳児)、体育遊び(2・3・4・5歳児)、スイミング教室(4・5歳児希望者)	月例	
随時	園外保育、健康診断(年2回)、蟻虫検査(年2回)、尿検査(年1回)、歯牙健診(年1回) 文字あそび(5歳)、消防点検・衛生害虫駆除	随時	園庭開放、一時預かり保育、体験学習(中学生・高校生) ボランティア・実習生受け入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、保育会議、給食会議、腸内菌検査、園舎内外の安全点検
随時	園内研修(年3回)、研修報告会、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、地域ごみ拾いボランティア、職員健康診断、職員旅行

利用定員	170 人	内訳	2号定員(3～5歳)	96 人	3号定員(1.2歳)	65 人	3号定員(0歳)	9 人
------	-------	----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～8時
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・延長保育事業(午後6時～午後8時) ・一時預かり保育事業 ・障がい児保育 ・育児相談

施設整備 各所修繕

<高千穂乳児保育園>

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信 託	・職員の教育・研修充実を図ります	1. なるほど！という学び。自分には無い他職員の視点や考え方に出会い自分磨きをします

根ざされる保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対する倫理教育を充実します ・経営理念等の明確化を図ります ・快適な生活環境の実現をします 	<ol style="list-style-type: none"> 2. 新人やベテランの垣根を超えてアドバイスやアイデアを出し合える園づくりをします 3. 乳児保育園としての生き残りをかけ「我々 保育者はどうあるべきか？」を常に再考できる職員会にします 4. 園長はリーダーシップを発揮し 方針など 全職員への周知徹底を図ります 5. 園の環境(階段・スロープの昇降)を利用し運動機能を高めさせます 6. 玄関・壁などの装飾に気を配り 送迎時の癒しにも繋がるよう配慮します
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能を活用します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保護者を招待して誕生会を行い 調理師を交えた楽しい食事の場を提供します 2. 江平小・宮崎小の出前保育を行い 小学校からも必要とされる保育園にします
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材の定着を図ります ・期待する職員像を明確化します ・福祉人材の確保に取り組みます 	<ol style="list-style-type: none"> 1. お互いに(励ます・手伝う・ありがとう)の三原則で日々の保育に取り組み 働きやすい園にします 2. それぞれ保育士の個を認め 良い面が更に伸ばせるような会話で保育士のやる気に繋がります 3. 人の感情は3歳までに育つ事の基本を伝え正解ではなくその都度の＜最適解＞を求め日々の保育に取り組みます 4. 園児には泣いたり怒ったり黙ったりする表現に対して十分に受けとめてもらう権利がある事を意識した保育実践を促します 5. 実習生やボランティア等を積極的に受け入れ一人ひとりを大事にした保育で保育士確保にも力を入れます

行事予定

月	保 育 園 行 事	月	地 域 行 事 等
4月		4月	江平小・宮崎小学校の参観時出前保育
5月	内科検診	5月	
6月	蟯虫・尿検査、歯牙検診	6月	
7月	プール開き	7月	
8月		8月	
9月		9月	江平小・宮崎小学校の参観時出前保育
10月	おじいちゃん・おばあちゃんとの交流会	10月	
11月	内科健診、蟯虫検査	11月	
12月	クリスマス会	12月	
1月		1月	江平小・宮崎小学校の参観時出前保育
2月	豆まき・参観日	2月	
3月	お別れ会、卒園、ひなまつり会、ふれあい運動会	3月	

月	保 育 園 行 事	月	地 域 行 事 等
日 例	保護者参加の誕生会(食事と提供) マポーツ教室(月4回) 防犯訓練	日 例	資源物をグラードに持っていく(月4回)

月例	保護者参加の誕生会(長年を記念)、お祝い(毎月)、お祝い(毎月)、防火訓練	月例	行政相談(月1回)、園周辺ゴミ拾い(月1回)
随時	園外保育	随時	江平小・宮崎小学校の参観時に出前保育(年5回) ボランティア・実習生受け入れ

職員に関する事項

月例	職員会、クラス検討会(保育内容検討)、身体計測、遊具・園内外の安全点検、腸内細菌検査、玩具消毒、消防設備点検、園舎内外の防除殺菌
随時	職員健康診断、職員旅行、法人内イベント参加、法人内外研修参加

利用定員 50 人

内訳	3号定員(1.2歳)	35 人	3号定員(0歳)	15 人
----	------------	------	----------	------

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
	保育短時間	午前8時30分～午後4時30分(8時間)	延長保育時間	午前7時30分～8時30分、午後4時30分～5時30分

地域子ども・子育て支援事業 ・ 延長保育事業 ・ 育児相談 ・ 障がい児保育事業 ・ 休日保育

施設整備 ・ 玄関の鍵センサー取り替え

＜天神の森きらら保育園＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の教育・研修の充実を図ります ・快適な生活環境の実現を図ります ・災害対策計画等に基づく実効性のある訓練の実施を行います ・衛生的な環境の整備を整え感染症対策強化も図ります 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全員がいろいろな研修に参加できるような体制をつくりスキルアップを図ります 2. 研修報告を行い全員が共通理解をします 3. 定期的な園内研修を行います 4. 発達段階に応じた遊具・環境を整えます 5. 遊具・室内の定期的な点検・消毒を行い安全、清潔を保ちます 6. 地域の避難所と連携を取り合い合同の避難訓練を行います 7. 災害計画を周知徹底し、全職員が理解を深め、様々な災害を想定した訓練を定期的に行っていきま

育園	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を受けます 	<ol style="list-style-type: none"> 8. 清掃の手順はマニュアル化し同じ意識で掃除に取り組み室内・遊具などを清潔に保ちます 9. 保護者・職員に感染症ガイドラインを再度配り意識を高めてもらい感染の予防・拡大防止に努めます 10. 評価結果を受け指摘を受けた点について話し合いをし改善していきます 11. 結果や改善点を公表します
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能を活用します ・地域を活性化する取り組みを行います ・地域から信頼される情報発信をします ・地域と連携し安全・安心への取り組みを行います ・ボランティアの育成と活動を支援します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 園庭開放デーを設けます 2. 近隣の清掃日を設けます(月1回職員が清掃活動を行います) 3. 地域にある施設との交流をします(施設訪問) 4. 地域の祭りや行事に参加します 5. 花育で子どもたちと一緒に造った寄せ植えを家の周りに飾ってもらいます 6. 園便り・行事のポスターなどを公民館に掲示してもらいます 7. ホームページで園の取り組みや子育て情報などを発信します 8. 災害時など地域の避難所として開放します 9. 災害時地域に貢献できるよう食料の備蓄をします
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の定着と人材確保に取り組みます ・リーダー層の育成を行います ・横の連携を取り合います ・職員の安全と健康の確保に取り組みます ・経営理念を明示し周知徹底し期待する職員像を明確化します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員同士がコミュニケーションを図れる時間を設けます 2. 働きやすい職場作りに努めます 3. リーダー研修に参加し役割を理解しリーダー同士の話し合いの場を確保します 4. 他園のリーダーと合同研修を行います 5. 伝達したいことは必ず連絡ノートに記入し回覧します 6. 職員会・リーダー会での報告は、参加していない職員に必ず伝達をする体制をつくります 7. ラジオ体操を奨励し体を動かし体調を整えるようにします 8. メンタルヘルス研修に参加します 9. ”お互い様”の気持ちで相手を思いやれる職場づくりに努めます 10. 理念を再確認し求められる職員像について話し合い明確化したものを周知徹底します(求められる職員像について振り返る機会をもちます)

行事予定

月	天神の森きらら保育園行事	月	地域行事等
4月	歓迎・親子遠足、桜ランチ	4月	
5月	交通安全教室	5月	
6月	保育参観、花育	6月	
7月	プール開き、夕やけ祭り	7月	宮崎天満宮夏まつり
8月	プール納め	8月	水かけ地蔵まつり参加
9月	運動会、十五夜さま	9月	
10月	防災訓練、キッズキッチン(5歳児)	10月	
11月	七五三参拝、いも掘り、職場訪問、観劇	11月	

12月	生活発表会、餅つき、クリスマス会	12月	
1月	お正月あそび、コスモランド教室、保育参加週間	1月	
2月	記念撮影、豆まき、海幸・山幸に乗って(5歳児)	2月	
3月	ひな祭り、お別れ遠足、お別れパーティー、卒園・修了式	3月	大淀小一年生との交流会参加、初午祭
月例	誕生会、避難訓練、身体計測、弁当の日、ノーメディアday、絵本貸出 スポーツ教室(2・3・4・5歳児)、スイミング教室(3・4・5歳児)希望者	月例	
随時	園外保育、クッキング保育、健康診断、歯牙検診、蟻虫・尿検査、プランター菜園 絵本閲覧(図書館)、園舎内外消毒(年6回)・砂場消毒(年4回)業者委託 実習生受入れ(宮崎医療管理専門学校・宮崎学園短期大学・九州保健福祉大学)	随時	施設訪問(ほのぼの天満)、幼児体験学習受入(大淀中学生) 工業高校家庭クラブ受け入れ、ボランティア受入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、給食検討会、腸内菌検査、遊具・園舎内外安全点検、町内清掃(第3水曜日)
随時	研修報告会、絵本紹介(読み聞かせ)、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、ゴミ拾いウォーキング、職員健康診断、職員旅行 防犯訓練(不審者対策訓練)

利用定員

70 人

内訳	2号定員(3～5歳)	44 人	3号定員(1.2歳)	20 人	3号定員(0歳)	6 人
----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間

標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4時～5時

地域子ども・子育て支援事業

- ・延長保育
- ・一時預かり保育
- ・障がい児保育
- ・育児相談

施設整備

- ・中央デッキ暑さ対策
- ・室内外の安全対策

< 波 島 保 育 園 >

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・経営理念等における明確化を行います ・災害対策、計画等に基づく実効性のある訓練の実施を行います ・快適な生活環境の実現します ・職員の教育・研修を充実します ・第三者による評価の受審をします 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人の尊厳を守る重要性について認識を深め、個人情報をきちんと管理しているか定期的に見直しをします 2. 年度初めに利用者との個人面談を行い、園の方針、姿勢を伝え理解を得ます 3. 虐待、身体拘束等を容認せず、身体に異常が見られるときは写真に残したり記録したりしておくなどして関係機関へ知らせます 4. 防災訓練をマニュアル・計画に沿って実施し、実施後話し合いを行い、対策の見直し・変更がある時は全員に確認を行います 5. 災害時の緊急連絡網の確認、及び連絡訓練を実際に行います 6. 子どもたちが季節感や安らぎを感じられるような環境づくりをします 7. 研修等に積極的に参加し、研修報告⇒実践⇒改善点をみつけます 8. 施設の現状や課題を明らかにして、質の向上を図ります

<p>地域に根ざす保育園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の安全、安心への取り組みをします ・地域を包括する公益的取り組みの推進をします ・施設機能の活用をします ・地域から信頼される情報発信をします 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域内で情報をやりとりできるシステム(電話連絡網やグループメールなど)を構築します 2. 地域の合同訓練に参加したり、近隣の災害避難所として受け入れる体制を整えます 3. 園庭開放の案内を行い充実させ気軽に利用してもらえようとし、子育てサロン(支援、相談の場)へと繋げていきます 4. 地域のイベントや活動に積極的に参加します 5. ペットボトルキャップ回収を通して、子どもと共にエコ活動に取り組みます 6. 施設で開催する行事等へ利用者のみならず、地域の人々への参加を呼び掛けます 7. 地域の特色を生かした琉球舞踊や、伝承遊びを教えもらい地域とつながりを持ちます 8. 地域の独居高齢者を把握し定期的に声掛け、見守りを行ったり、園に招待し交流を図ります 9. 引き続き毎月、園便り、給食だよりを地域のスーパー掲示板へ掲示します 10. 定期的に行事、園での取り組みがわかる内容の情報誌(チラシ)を作り、地域の郵便局・銀行などに置かせてもらい波島保育園をアピールしていきます 11. 年に数回、波島公民館のごみ拾いをします
<p>組織力のある保育園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念の明示・周知徹底をします ・横の連携の推進をします ・福祉人材の定着を図ります ・職員の安全と健康の確保をします 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年度初めに園の方針を全職員にプリントして伝え理念を意識し、理解し共有していきます 2. 職員会などを通して理念がずれないように確認し合い意識を高めます 3. 職員会、園内研修などを通して情報交換し合いそれぞれが自分の役割を意識し、お互いを認め合い協力し合っていきます 4. 誕生会、園外遠足など、調理士を交え交流を図るとともに、食の大切さを共有します 5. 法人内の保育園の見学、情報交換し合える機会をつくります 6. 研修に参加し、人間性と専門性の向上を図り自己研鑽に努めるようにします 7. 新人職員の育成として、悩みや疑問を相談しやすいように年齢の近い職員に指導に当たらせ、その職員の育成を中堅保育士が行い、さらに、みんなで支え合いフォローアップしていきます 8. 生活習慣を見直すためのパンフレットを作成して職員に配布します 9. 管理職や担当職員に諸制度について研修し制度を周知させます 10. 休暇の取得しやすい環境を構築します

行事予定

月	波島保育園行事	月	地域行事等
4月	春の歓迎遠足	4月	
5月	交通指導、お花見ハイキング	5月	
6月	保育参加週間	6月	
7月	夕べの集い、プール開き	7月	
8月	プール納め	8月	波島地区夏まつり・夏まつり実行委員会
9月	お月見会	9月	波島地区敬老会
10月	運動会	10月	芋掘り体験交流(東大宮まちづくり推進委員会)
11月	秋の親子遠足、みかん狩り	11月	コミセン祭り、皇寿園訪問
12月	生活発表会、クリスマス会、餅つき(お年寄りの方と交流)	12月	福寿園訪問
1月	保育参加日、なわとび大会	1月	

2月 3月	豆まき、お花見ハイキング ひなまつり会、卒園児親子クッキング、卒園修了式、お別れ遠足	2月 3月	小学校訪問(交流会)
月例	誕生会、弁当の日、発育測定、防災訓練、英語であそぼう、スイミング、和太鼓運動あそびなんでもチャレンジ、フッ素洗口(毎日)、絵本貸し出し(毎日) 3・4・5歳児異年齢保育(週1回)	月例	園庭開放(火曜日)
随時	食育活動(野菜作り・米作り・簡単クッキング)、ペットボトルキャップリサイクル活動 健康診断・ぎょう虫検査(年2回)尿検査・歯科検診(年1回)、エイサー(踊り)	随時	実習生受入れ・ボランティア受入れ、中学生職場体験学習受入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、園内研修、腸内菌検査、園舎内外の安全点検
随時	保育環境講座研修参加、絵本講座研修参加、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、職員健康診断、職員旅行、地域のゴミ拾い

利用定員	100 人	内訳	2号定員(3～5歳)	56 人	3号定員(1.2歳)	41 人	3号定員(0歳)	3 人
------	-------	----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～8時
	保育短時間	午前8時30分～午後4時30分(8時間)	延長保育時間	午後4時30分～5時30分

地域子ども・子育て支援事業 ・ 延長保育事業 ・ 休日保育 ・ 一時預かり保育 ・ 学童保育

施設整備 ・ 保育室の照明器具随時取替え ・ 床ワックスかけ ・ 園庭遊具倉庫補修

＜ 住吉中央保育園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の教育・研修の充実を図ります ・第三者評価による評価を受診します ・快適な生活環境の実現を図ります ・設備・備品の維持管理を行います 	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャリアに応じた研修プログラムを策定し、プログラムにそって研修に参加します 2. 積極的に研修に参加し、専門性、技術の向上に努めます 3. 正しい倫理観をもち、人権を尊重する、福祉に携わる仕事の重要性について認識を深めます 4. 一人ひとりが再度、基本理念や保育方針・園の方針を十分理解します 5. 日頃の保育を見直し、再確認していきます 6. 第三者評価を受診します 7. 子ども達が安全に安心して生活できるよう、保育環境を定期的に見直し、よりよい環境を整えます 8. ヒヤリハットを徹底し、事故防止に努めます 9. 子ども達といっしょに、野菜づくり(食育)花づくり(花育)に取り組み花いっぱい心地よい環境をつくります 10. 担当者だけでなく、ひとり一人がこまめに、施設・遊具の点検を行い、状況・情報を共有し、安全第一に努めます 11. 現在の施設・備品で、利用者にとって、より安全性の高いものであれば、整備・買い換えていきます(職員室・以上児保育室・調理室他順次改修していきます)
地域		<ol style="list-style-type: none"> 1. 園の様子や取組みがわかるように、ホームページを上手に活用発信していきます 2. 地域の回覧板で、園だよりや活動の様子等を知らせ、園行事への参加の呼びかけや、お誘いを積極的に行います

<p>次に根ざす保育園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域から信頼される情報発信に取組みます ・様々な困難事例への取り組みに務めます ・多様な社会福祉援助ニーズの把握に努めます ・施設機能を活用します 	<ol style="list-style-type: none"> 3. 地域機関・民生委員との連携をはかりながら、困っている人・困りごと等の情報を得られるように努めます 4. 障がい児の受け入れや育児相談、課題の多い家庭の支援や援助を積極的に行います 5. 保育園に対して、地域の人がどういう事を望み、期待しているか、地域行事や自治会の集まりに参加し情報等を得ます 6. 他の福祉施設や児童館、学校などと連携をはかり、情報交換を行っていきます 7. より園庭開放、“にこにこ広場”を充実させ、より多くの人に活用してもらえよう工夫し取り組みます 8. 地域行事等で施設や園庭、遊具等、地域で活用してもらえよう発信し提供します 9. 出前保育や職員(人材)派遣等取り組みます
<p>組織力のある保育園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材の定着を図ります ・経営理念を明示し周知徹底を行います ・横の連携の推進を図ります ・体系的な研修プログラムの構築を図ります ・職員の安全と健康の確保に努めます 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初任者のための専任、育成担当を配置しフォローアップしていきます 2. 人間関係を良好にし、仕事をいっしょに楽しめるような雰囲気づくりやコミュニケーションスキルを身につけていきます 3. 仕事と生活(家庭)の両立に配慮した取り組み(休暇取得・勤務体制)を考えます 4. 定期的な職員会・リーダー会 で経営理念を確認、周知徹底していきます 5. 福社会の一員として自覚と誇りを持ち、職務を遂行します 6. 利用者の人権と最善の利益を尊重し守っていけるように努めます 7. 更なる報告・連絡・相談の徹底を図ります 8. 気づいた事、ふと思った事を口に出して伝え合い小さなリスクのうちに事故防止します 9. 自分の意見や思いを言い合える環境づくり、協力し支え合う仲間づくりを進めます 10. 園内研修では、学びたいテーマを挙げ全体で又グループで取り組みます 11. キャリアに応じた適切な研修の機会を積極的に設けます 12. 個別研修計画を作成し管理していきます 13. 体調やメンタル面で相談しやすいお互いを気遣い声かけ合う職場環境づくりに取り組みます 14. 出来るだけ持ち帰りの仕事を無くすようにし睡眠・余暇・家族との時間を増やします 15. 日々朝のラジオ体操第一・3時前のラジオ体操第二で腰痛防止と健康づくりに努めます

行事予定

月	住吉中央保育園行事	月	地域行事等
4月	入園・進級式、春と遊ぼう(フローランテ)	4月	
5月	園児健康診断、さあ出かけよう！(花しょうぶ・いちご狩り)	5月	こいのぼり運動会(老人クラブ交流)
6月	大淀川学習館探検、歯牙検診	6月	
7月	プール開き	7月	七夕交流(住之江荘)、納涼の夕べ(地域招待)
8月	保育参加日(アユのつかみどり)	8月	小学生との交流会(ソーメン流し・アユのつかみどり)、住吉中2年生職場体験
9月	総合防災訓練、お月見、歩こう会(萩の台)	9月	総合防災訓練(地域・児童館)(レインボー訪問)
10月	青島探検、にこにこ運動会、キッズキッチン	10月	住吉小4年生との交流
11月	芋掘り、交通指導、親子遠足、みかん狩り	11月	住吉地区文化祭参加、お仕事ご苦労様訪問
12月	もちつき、観劇会、わくわくドキドキ発表会	12月	住之江荘訪問、もちつき(老人クラブ交流)
1月	コスモランド教室、お正月あそび、保育参加週間、海幸山幸に乗って	1月	観劇会交流(姉妹園・地域子育て親子)
2月	記念撮影、空港探索、春を探しに！(梅見)	2月	豆まき(交流・地域訪問)
3月	ひな祭り、お別れパーティー、歩こう会、卒園・修了式(動物園)	3月	

月例	誕生会、防災訓練、身体計測、お弁当の日、ノーメディアデー(第3水曜日) スイミング(4・5歳児)、えいごであそぼう(3・4・5歳児)、スポーツ教室(3・4・5歳)	月例	遊びにいらっしやい！にこにこ広場(子育て支援)第2月曜日 園庭開放(月・水・土)
随時	園外保育、保護者会役員会、ママ楽カラ弁の日、砂場・植木・園舎内消毒 フッ化物洗口(4・5歳児)、エコ活動(ペットボトルキャップリサイクル活動)	随時	ふれあい交流の日(地域)、ボランティア受入れ・実習生受入れ

職員に関する事項

月例	全体職員会、リーダー会(月曜日)、各クラス職員会(金曜日)、腸内菌検査、園舎内外の安全点検
随時	研修報告会、自主研修、園内外研修参加、法人内研修会参加、法人内イベント参加、職員健康診断、職員旅行、地域のゴミ拾い < 保育園イベントプロジェクトチーム活動 > お花見歓迎会、夏バテ解消バーベキュー、運動会打上げ(保護者会含む)、クリスマス忘年会、福をよぶ豆まき大会 卒園・修了懇親会(保護者会含む)

利用定員	70 人	内訳	2号定員(3～5歳)	43 人	3号定員(1.2歳)	22 人	3号定員(0歳)	5 人
------	------	----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～8時
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4時～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・ 延長保育事業 ・ 一時保育事業 ・ 育児相談 ・ 学童保育 ・ 子育て支援にこにこ広場 ・ 障がい児保育事業

施設整備 ・ 調理室棚他整備改修 ・ 職員室改修(相談面談コーナー設置)

< 広原保育園 >

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> 第三者による評価を受審します 職員の教育・研修を充実します 快適な生活環境の実現します 災害対策計画等に基づく実効性のある訓練を実施します 	<ol style="list-style-type: none"> 第三者評価のガイドラインを知り、理解します 第三者による評価を受け、改善点を明らかにし改善します 研修に積極的に参加し、情報共有できるよう研修報告会を行います 研修情報をホームページ等で情報収集をします 少人数等での意見交換行い、園内研修の充実を図ります 子どもの姿(成長・発達)に応じて、家具の配置や玩具など工夫し、寄り添い落ち着ける空間づくりをします 定期的な園内外の安全点検・整備・清掃消毒を行います 草花や野菜を育て収穫し、自然に触れられる環境づくりをします 年間計画・避難ルート・役割分担を再確認し、意思疎通を図ります 日章学園との合同避難訓練の計画実行し、災害時のマニュアルの見直しをします 非常持ち出し備品・防災用品の備蓄管理をします
地域に根ざす	<ul style="list-style-type: none"> 地域を包括する公益的取組みを推進します 地域の安心安全への取組みをします 施設機能の活用をします 地域から信頼される情報発信をします 	<ol style="list-style-type: none"> 随時、子育ての悩み相談を受け、子育て支援の充実化を図ります 近隣の施設の方々を招いて、子ども達と関わる時間を設けます 特別保育やアレルギー対応など、保護者のニーズにあった保育の対応をします 地域の方々に散歩の時など声を掛け、コミュニケーションを図ります 園児を交えた園周辺のゴミ拾い活動を行います 地域の方の避難場所として活用してもらうよう周知します

保育園		7. 地域の方々をお茶会に招待します 8. 園の開放日を設けます 9. 園の取り組みや特色を記したお便りを、いこいの家や産院等に提示してもらいます 10. 地域行事の際、取り組みや現状をアピールします
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・経営理念の明示・周知徹底を図ります ・リーダー層の育成をします ・横の連携の推進を図ります ・福祉人材の定着を図ります ・職員の安全と健康を確保します 	1. 園の理念方針を職員会等で読み合わせし、内容を再確認します 2. 理念方針等を書面化し、職員の見やすい位置に掲示します 3. 園長主任と定期的なリーダー会を行い、リーダーとしての意識付けを行います 4. リーダー研修等を受講し、専門性を高めます 5. 行事等の仕事を任せ、計画、実行、反省を重ねることにより、リーダーとしての自信を持たせます 6. 法人内のイベントや研修に積極的に参加し、コミュニケーションを図ります 7. 報、連、相の大切さを常に話し、連絡ノートの活用も徹底します 8. 職員同士が話しのできる憩いの時間をつくり、コミュニケーションを図ります 9. 実習生、職場体験等の受け入れを積極的に行います 10. 福祉の仕事のやりがい、魅力について理解促進を図ります 11. 休みを取りやすい雰囲気づくりを心掛け、お互い支え合う働きやすい職場づくりに努めます 12. 体を動かす時間をつくります 13. 身体を休める空間を確保します 14. 4S(整理・整頓・清潔・清掃)の徹底を図り、職場内環境を整えます

行事予定

月	広原保育園行事	月	地域行事等
4月	入園・進級式、交通教室、親子遠足	4月	藤田助産院との交流
5月	自然と遊ぼう、ふれあい会、いちご狩り	5月	こいのぼり運動会(いこいの家)
6月	保育参加日	6月	
7月	プール開き、七夕会、1年生交流	7月	卒園児交流
8月	プール納め、夏を楽しもう会	8月	
9月	お月見会、防災訓練	9月	敬老会(いこいの家・エンゼルホーム)
10月	にこにこわくわく運動会、祖父母交流	10月	芸能まつり参加、日本大学高等学校お茶会見学
11月	芋掘り、七五三参り	11月	廣原神社祭り参加、住吉地区文化祭参加、日章学園との合同防災訓練
12月	みんなの発表会、もちつき会、クリスマス会、キッズキッチン	12月	施設交流、ユニセフチャリティーお茶会
1月	コスモランド教室、保育参加週間、凧あげ、総合防災訓練、海幸山幸列車の旅	1月	新春交流会(いこいの家)(ケアハウス島之内)
2月	豆まき、記念写真撮影	2月	日章学園との合同防災訓練
3月	ありがとう会、卒園・修了式、ひなまつり会、お別れ遠足	3月	小学校訪問
月例	誕生会(保護者招待)、身体計測、防災訓練、弁当の日、お茶会、運動あそび 英語であそぼう、スイミング(3・4・5歳児希望者)	月例	
随時	園外保育 健康診断 足・膝曲り検本 歯牙検診 ケアセンター	随時	日章学園との合同防災訓練、藤田助産院との交流

随時	園外保育、健康診断、水・玩玉外保育、園外保育、ソング	随時	施設訪問(いこいの家、住之江、ケアハウス島之内)、実習生・ボランティア受け入れ
----	----------------------------	----	---

職員に関する事項

月例	職員会議、誕生会計画、腸内菌検査、遊具の点検、園舎内外消毒、お茶会参加
随時	保護者個人面談、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、職員健康診断、職員旅行、ゴミ拾いウォーキング、チャリティーお茶会参加 食育のための野菜づくり、美化活動(花植え・清掃)

利用定員	60 人	内訳	2号定員(3~5歳)	38 人	3号定員(1.2歳)	16 人	3号定員(0歳)	6 人
------	------	----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4～5時

地域子ども・子育て支援事業

- ・ 延長保育
- ・ 一時預かり保育
- ・ 障がい児保育
- ・ 育児相談

施設整備

- ・ テント購入
- ・ 園庭の環境整備

< 住吉東保育園 >

方針

方針	重点課題	具体的取り組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の教育・研修の充実を図ります ・ 子ども・保護者が楽しみを感じられる日々の活動の提供を行います ・ 災害計画等対策に基づく実効性のある訓練の実施を行います ・ 第三者による評価を受審します ・ 個人情報保護体制の整備を図ります 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の経験・得意分野に応じた研修を選択し参加を促します 2. 園内研修・法人内研修・園外研修にも積極的に参加し学びの体制作りをします 3. 専門研修はじめ人間力向上の研修に参加する 4. 宮崎活動を通し四季の良さ、伝統行事を伝えます 5. 発達年齢を捉え、思いやりのある優しい心を育むため異年齢保育の良さを更に追求します 6. 保護者参加型の行事を行います 7. 年間計画をたて月1回の訓練を行います 8. 救護施設「すみよし」との合同防災訓練を年1回行います 9. 救急法・不審者対策訓練を行います 10. 保育園の質の向上と保育の質の向上を目指すための勉強会を行います 11. 個人情報についての勉強会を行う 12. 感染情報収集後、情報提供し迅速な対応対策を取ります
地域に	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設機能を活用する ・ 困難事例への取り組みを行う 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域交流レクリエーションの場として活用します 2. 行事後の園内解放をします 3. 地域の子育て悩み相談を受ける体制づくりをします 4. 悩み等の事例については職員会議を行い慎重に取り組みます

根ざす 保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を包括する公益的取り組みの推進を図る ・地域の安全・安心への取り組みを図る 	<ol style="list-style-type: none"> 5. 地域の方々との触れ合いを大切にし、相談に応じます 6. 地域行事に参加します(夏祭り・地区文化祭・住吉神社例祭・すみよしレクリエーション) 7. 近隣の小学校行事に参加し、交流をします 8. 地域の健康生活を考える地域ケア会議に参加し、保護者支援に努めます 9. 地域住民と気持ち良い挨拶を徹底します 10. 地域住民の困り感について手助けします
組織力のある 保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・職員処遇の現状の把握、分析、課題の抽出を行う ・職員の安全と健康の確保に努める 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員会・リーダー会・クラス別会議を行い気持ちを共有します 2. 国の動向等、知り得た情報を的確に知らせます 3. 情報誌の定期購入し新鮮な情報を発信します 4. 健康診断を行い、職員の健康状態を把握し早期治療をすすめます 5. 心身ともに健康で楽しく仕事にやりがいを感じるよう年休取得し易い人員配置を行います 6. 職員健康維持のため体操時間をもうけます

行事予定

月	住吉保育園行事	月	地域行事等
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	入園 おめでとう会、クラス懇談会、すくすくtime(個人面談) 春の遠足、交通安全教室、魚網焼き会 親子ふれあい参観日 プール開き、ソーメン流し、夏のおたのしみ会、宮崎の夏の食育、 ボディーペインティング、宮崎の夏の食育 夏の遊び、かき氷大会 祖父母参観日、敬老交流 ふれあい運動会、空港探検、十五夜祭り 秋の遠足・七五三詣り、キッズキッチン、魚網焼き会、総合防災訓練 ティーパーティー(給食試食会) クリスマス会、音楽コンサート 正月あそび、伝承遊び、春まつり(発表会)、子ども作品展 参観日、就学前交通指導 お別れパーティー、お別れ会、遠足、卒園・修了式	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	じゃがいも掘り交流(すみよし) 七夕交流(コーポ住吉荘)、 住吉夏祭り参加(和太鼓) 敬老交流会(コーポ住吉壮・祖父母・すみよし) 芋掘り交流(すみよし)、青島めぐり旅(姉妹園交流) 姉妹園交流、宮崎大好き活動、地区文化祭、「すみよし」地区交流 餅つき交流(すみよし) 伝承遊び 住吉例大祭(和太鼓)、海幸山幸列車の旅(姉妹園交流)、フェニックス動物園 豆まき交流(住吉・コーポ住吉壮) ひな祭交流(コーポ住吉荘)、春のレクリエーション(すみよし)
月例	誕生会、防災訓練、身体測定、お弁当の日、和太鼓(4・5歳児)、英語(3・4・5歳児) スポーツ教室(2・3・4・5歳児)、読み聞かせ、スイミング(4・5歳児希望者)、食育活動	月例	地域・老人ホームとの交流、育児支援
随時	健康診断(年2回)、蟻虫検査、尿検査、歯科検査、園外保育、エコ活動、 食育(野菜づくり)、フッ化物洗口、硬筆指導、クッキング(春・夏・秋・冬)	随時	育児支援(地域活動)、地域支援、宮崎大好き活動(散策・観光地めぐり) ボランティア・実習生受入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、給食会議、遊具・園内安全点検、職員腸内細菌検査
随時	職員健康診断、園内研修参加、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、園内レクレーション、職員旅行、自主研修 宮崎大好き活動、懇親会(地域)

利用定員 100 人

内訳	2号定員(3～5歳)	63 人	3号定員(1.2歳)	30 人	3号定員(0歳)	7 人
----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4～5時

地域子ども・子育て支援事業

- ・ 延長保育
- ・ 一時預かり保育
- ・ 障がい児保育
- ・ 育児相談

施設整備

- ・ あそび小屋設置

< 富吉保育園 >

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 快適な生活環境の充実を図ります ・ 設備・備品の維持管理を行います ・ 食事形態やアレルギーへの個別対応を行います ・ サービスの自己点検と改善を行います ・ 第三者による評価を受審します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コーナー遊びで使用する玩具の内容を充実させます(ソファ・鏡台・ままごとセット等) 2. 防災設備に加え危険な場所や破損具合等を職員会等で報告、伝達の出来る時間を設けます 3. 以上児クラスの食事形態を考え、無理なくスムーズに流れて行ける様なランチルームの使用方法を工夫します 4. アレルギー対応を全職員に周知徹底し、無理無く進めていける様工夫し、記録を残します 5. 個人面談を行う事で、家庭での様子を把握すると共に保護者と職員間の風通しを良くします 6. アンケート等を出す事により保護者の要望を知り、何らかの対応をとります 7. 年に数回は自己評価の記入を行い、その都度自分には何が不足していたのかを考えます
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設機能を活用します ・ 家族や育児等に対する支援を行います ・ 地域の活性化をする取組みを行います ・ 地域の社会資源の活用を行います 	<ol style="list-style-type: none"> 1. AEDが保育園に設置されている事を、地域の方にも知って頂き、もしもの時には利用して頂きます 2. 月に1・2回の子育て支援を行い、親子への遊びの提供をします 3. 親子一緒に参加出来る様な、地域清掃やボランティア等の取組みを行います 4. 地域にあるお店・交番・消防署・生目古墳群等の施設見学や体験を行います

組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・期待する職員像の明確化を行います ・体系的な研修プログラムの構築を図ります ・福祉人材の定着を図ります 	<ol style="list-style-type: none"> 1. なりたい自分の姿を明確にし、その姿を出し合う事で理想の職員像を再認識します 2. 研修計画の中に、一人ひとりの研修目標を立て、その目標を達成する為の研修に参加します 3. 日頃から、誰にでも相談出来る様な雰囲気作りを心掛け定期的に面談やアンケート等を実施します 4. 職員でレクリエーションを実施し、良好な人間関係を築きます
-----------	--	--

行事予定

月	富吉保育園行事	月	地域行事等
4月	入園・進級式	4月	春のふれあい運動会(地域交流)
5月	保育参観、春の遠足(3・4・5歳児)	5月	芋の苗植え(地域交流)
6月	交通安全指導	6月	
7月	プール開き、七夕のつどい	7月	ふれあいの夕べ(地域交流)、小学校の話を聞こう(1年生交流)
8月		8月	生日ふるさと祭り参加(5歳児)
9月		9月	ふれあい運動会(地域交流)、富吉地区敬老会参加(5歳児)
10月		10月	富吉っ子親子まつり(地域交流)、芋掘り(地域交流)
11月	秋の遠足(4・5歳児)	11月	生日小学校の祭り参加(5歳児)、七五三詣り(富吉神社) 生日地区文化祭参加(5歳児)
12月		12月	もちつき大会(祖父母交流)
1月	楽しい発表会、キッズキッチン(5歳児)、お魚の話、大淀川園児教室(5歳児)、クリスマス会	1月	
2月	総合防災訓練、保育参観週間、豆まき、コスモランド教室(4歳児)	2月	年長児思い出の旅(生日地区一回り)
3月	記念撮影、お別れ親子遠足、ひなまつり会、お別れ会、卒園・修了式、保護者会総会	3月	富吉桜まつり参加(富吉共立病院)
月例	お誕生会、防災訓練、お弁当の日、身体計測、英語であそぼう(4・5歳児)・・・月2回 和太鼓(5歳児)・・・月2回、お歌で遊ぼう(3・4・5歳児)・・・月2回 体育遊び(3・4・5歳児)・・・月2回、スイミング(3・4・5歳児希望者)・・・月2回	月例	
随時	園外保育、クッキング教室、健康診断(年2回)、歯科検診(年1回)・蟻虫・尿検査(年2回) 文字のおけいこ(5歳児)・・・3ヶ月間	随時	ボランティア・実習生受け入れ

職員に関する事項

月例	職員会、給食検討会、腸内菌検査、遊具安全点検
随時	職員健康診断、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、園内研修参加、各種研修参加、職員旅行、職員健康診断、職員旅行、職員親睦会

随時 保護者との交流会、地区祭り文化祭打合せ会参加、地域ゴミ拾いボランティア

利用定員	55 人	内訳	2号定員(3～5歳)	35 人	3号定員(1.2歳)	15 人	3号定員(0歳)	5 人
------	------	----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間	標準時間	午前 7 時 00 分 ～ 午後 6 時 00 分(11時間)	延長保育時間	午後 6 時 ～ 7 時
	保育短時間	午前 8 時 00 分 ～ 午後 4 時 00 分(8時間)	延長保育時間	午前 7 時 ～ 8 時、午後 4 時 ～ 5 時

地域子ども・子育て支援事業 ・ 延長保育事業 ・ 一時保育事業 ・ 障がい児保育事業 ・ 育児相談

施設整備 ・ 玄関ホール環境整備 ・ 園庭倉庫設置

< 住吉南保育園 >

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護体制の整備を図ります コンプライアンス教育を徹底します 快適な生活環境の実現を図ります 利用者が楽しみを感じられる日々の活動の提供を行います 第三者による評価を受審します 	<ol style="list-style-type: none"> 個人情報における体制の見直しを図り、情報の流出を防ぐ為にデータの保存の仕方等の指導をします 園内研修を定期的に行い、園の方針や理念等を確認します 登降園時の保護者や園児の安全の為、駐車場を確保します 建物内外のメンテナンスを定期的に行い環境を整えます 園庭の整備や遊具の安全面等の充実を図ります 子ども達が体験したり発表する機会を設け、経験を重ねる事で知識を得たり自信が持てるようにします 心も身体もリラックスできる畳のコーナーを作り家庭的で安らげる環境作りをします スポーツキャンプを観戦する等、憧れの気持ちを持たせる事で意欲を持ち色々な運動に取り組めるようにします 第三者評価を受審する事で明確になった問題点を改善します 評価内容をホームページに公開し、質の向上を図ります
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> 地域を包括する公益的取り組みの推進を図ります 施設機能を活用します 地域の安全・安心への取り組みを実施します 	<ol style="list-style-type: none"> 地域の高齢者宅への誕生日訪問の範囲を広げます 地域の方を行事に招待する等、交流を図り地域を元気にします 地域に伝わる伝統行事を体験する事で地域との交流を図ります おひさま広場カフェ等、子育て支援の強化を図ります 地域の方が楽しめるような企画を発信していきます（講演やイベント等） 防犯や安全の為に外灯の設置をします 地域の方と合同避難訓練をしたり危険な箇所のチェックをしたりして安心・安全な地域作りをします
組織		<ol style="list-style-type: none"> 防災等のマニュアルを全職員で作成し、誰でも分かるようホームページに掲載します 研修受講履歴を管理し、全職員の個別研修計画を立てます

力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> 体系的な研修プログラムの構築を行います 福祉人材の定着を図ります リーダー層の育成をします 	<ol style="list-style-type: none"> 質の高い保育を提供できるように多種多様な研修等に参加しスキルアップを図ります 子育て世代の職員に病気、行事等に参加しやすい環境等ゆとりある職場作りを目指します きめ細やかなヒアリングの実施を行います 各行事担当のリーダーやクラスリーダー等を決め、リーダー会議を定期的に行い意識を高めます リーダー層向けの研修計画を立てリーダーとしての自覚が持てるようにします 各階層別の研修計画を立てキャリアアップを図ります
---------	---	---

行事予定

月	住吉南保育園行事	月	地域行事等
4月	入園・進級おめでとう親子遠足、野菜の種まき祖父母交流	4月	祖父母交流
5月	交通安全教室祖父母交流	5月	祖父母交流、井上病院交流
6月	ふれあい保育参加日、クラスレクレーション	6月	
7月	プール開き、星まつり、児童プール	7月	井上病院交流
8月	プール納め	8月	
9月	わくわく空港探検、クッキング、敬老交流会	9月	井上病院交流、敬老交流会(こんぺいとう・ゆずりは)
10月	家族ふれあい森の運動会、キッズキッチン、防災訓練(通報訓練)	10月	井上病院芋ほり交流
11月	秋の収穫遠足、七五三詣り	11月	住吉地区文化祭、すみよしと芋ほり交流、お仕事ご苦労様訪問(歴史資料館・派出所他)
12月	みんなえがお発表会、クリスマス会	12月	餅つき祖父母等交流、井上病院交流
1月	祖父母交流週間(お正月遊び)、なかよし遠足、ふれあい保育参加週間	1月	祖父母交流週間
2月	春待ちウォーキング、豆まき、豆まき交流、就学前交通指導	2月	井上病院交流、小学校訪問(1年生との交流会)
3月	ひなまつり会、ひなまつり交流、お別れ遠足お別れパーティー、卒園・修了式	3月	井上病院交流・こんぺいとう交流
月例	誕生会、発育測定、防災・防犯訓練、弁当の日、スイミング(4,5歳児) 英語であそぼう(3,4,5歳児)、スポーツ教室(2,3,4,5歳児)	月例	
随時	園外保育、クッキング、絵本貸出、歯牙検診、健康診断(年2回)、パンアカデミー フッ化物洗口(4・5歳児)、ぎょう虫・尿検査、高齢者誕生訪問、園児美化活動	随時	ボランティア・実習生受入れ

職員に関する事項

月例	職員会(チーム会)、職員腸内菌検査、安全点検、園内研修
随時	園内外研修参加、法人内外研修会参加、研修報告、法人内イベント参加、環境美化清掃、ゴミ拾いウォーキング、職員健康診断、職員旅行 全館お掃除デー(毎週水曜日)

利用定員 100 人

内訳	2号定員(3~5歳)	71 人	3号定員(1.2歳)	26 人	3号定員(0歳)	3 人
----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時30分
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4時～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・延長保育 ・一時預かり保育 ・障がい児保育 ・育児相談 ・学童保育

施設整備 ・園庭整備

< 児童養護施設 みんないかん >

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される施設	<ul style="list-style-type: none"> 職員に対する倫理教育を実施します リスクマネジメント体制を構築します 快適な生活環境の実現を図ります 苦情解決、相談体制の整備を強化します 	<ol style="list-style-type: none"> 人権擁護委員会の組織を強化して内容充実を図ります(委員会の定例化年4回) 倫理教育についての年間計画をたて、職員会時に事例検討会や研修会を行います 安全確保委員会の組織を強化します(事故対策の実施状況や実効性について定期的に評価・見直し) (ヒヤリハットの分析と周知徹底) 医療や健康についての定期的な勉強会をします 「生活についてのアンケート」を実施し子どもにとってより良い環境づくりに努めます 地域小規模児童養護施設設置に向けて準備をします(他施設の視察、空き家のリサーチ等) 苦情解決の仕組みをわかりやすくした子どもや保護者向けのパンフレットを配布し説明をします 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由を選べることをわかりやすくした文書を作成して説明します
地域に根ざす施設	<ul style="list-style-type: none"> 家族や地域住民に対する支援を行います 多様な社会福祉援助ニーズを把握します 地域を包括する公益的な取組を推進します 地域の安全 安心に取り組めます 	<ol style="list-style-type: none"> 広報誌を作成し配布して施設機能の理解を図ります ショートステイ事業や里親レスパイトケアに加え一時預かり事業を実施します 子育て相談等の電話相談に応じていきます 地域の会議や行事に積極的に参加します 関係機関リストを作成して、地域のネットワーク化に取り組みます 民生委員等の視察の受入れを行い交流をはかります みやざき安心セーフティーネット事業を推進します(CSW配置) 地域住民の生活に役立つ講演会や研修会を実施します 学校や警察と連携して登校時の見守り活動やパトロールを実施します 子ども110番の家として地域の安全に努めます 災害時の取組みとして、地域との防災訓練を充実させます
組織力のあ	<ul style="list-style-type: none"> 福祉人材を確保します 福祉人材の定着を図ります 	<ol style="list-style-type: none"> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成を強化します 専門職種の特性に配慮したプログラムを作成して実施します 学校や関係機関へのPR活動をすすめます(DVD作成等) 年代別や経験年数別の情報交換会を企画し、実施します 新人職員育成担当者を配置してフォローアップ体制を整えます

る 施 設	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成制度を構築します 	<ul style="list-style-type: none"> 6. ノー残業デー・年休取得等を徹底して働きやすい職場づくりに努めます 7. 職員各自の研修受講履歴を管理し、個別研修計画を充実させます 8. 施設として「期待する職員像」を明確にして、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みを構築します (職員一人ひとりの目標について、年度当初・年度末面接で目標達成度の確認)
-------------	---	---

行事予定

月	施 設 行 事	月	地 域 行 事 等
4月	入園・入学おめでとう会、担当レクリエーション	4月	前浜自治会総会
5月	子どもの日全体レクリエーション、蛍観賞会	5月	地域防災訓練
6月	総合防災訓練、幼児健康診断、先輩に学ぶ	6月	市民一斉清掃
7月	児童と職員の研修旅行、七夕、海水浴	7月	
8月	施設球技大会参加、ふれあい家庭事業、一時帰省、花火大会見学、サマーメモリー	8月	皇寿園まつり、あすなろの里納涼祭
9月	十五夜、敬老の日イベント	9月	地域防災訓練、敬老会
10月	担当レクリエーション、秋休みレクリエーション、児童健康診断、ハロウィン	10月	健康福祉まつり
11月	総合防災訓練、七五三、みんせいかんフェスタ(地域交流)	11月	地域4施設合同防災訓練
12月	クリスマス会、大掃除、ふれあい家庭事業、施設交流駅伝(持久走)大会、一時帰省、餅つき	12月	向陽園まつり
1月	初詣、ウインターメモリー、自立訓練プログラム	1月	
2月	節分豆まき、バレンタインデー	2月	
3月	ひなまつり、卒園・卒業を祝う会	3月	檜地区福祉まつり、前浜さくらまつり
月例	防災訓練、発育測定、調理実習、児童会、伝承あそび(金)、スポーツ(月・水・土) セカンドステップ、和太鼓、性教育、安全教育、心理療法、個別対応	月例	ボランティア活動(地域清掃)、 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校行事
随時	食育活動(野菜作り等)、小グループレクリエーション、嗜好調査 ボランティア招待レクリエーション、誕生会	随時	子ども育成会行事、檜地区地域まちづくり推進委員会行事 檜地区社会福祉協議会会議、ボランティア・実習生受入れ

職員に関する事項

月例	職員会議・調和会、献立作成会議、ケース研究、腸内菌検査、コモンセンスペアレンティング、小グループ会議、施設内外安全点検
随時	救急法講習会、家庭訪問、施設内外・法人内研修及び報告会、実習生受け入れ、アフターケア、職員健康診断、職員旅行、法人内イベント参加、他施設視察 自立支援計画の検討会、社会的養護自己評価、人権擁護委員会、安全確保委員会、防火防災対策委員会、性教育委員会、ライフストーリーワーク委員会 小学生教育支援委員会、宮崎県児童福祉施設協議会会議・専門委員会、

定 員 30 人

事業について ・宮崎市子育て短期支援事業 ・みやざき安心セーフティネットワーク事業（生計困難者に対する相談支援事業）

施設整備 ・園庭周辺整備

< 救護施設 す み よ し >

方 針

方針	重点課題	具体的取り組み
信頼される施設	<ul style="list-style-type: none"> ・経営理念等における明確化を図ります ・サービスの自己点検と改善を行います ・快適な生活環境の実現に取り組みます ・リスクマネジメント体制の構築を図ります ・設備・備品の維持管理を行います 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンプライアンスを意識した業務の遂行に努め、施設の透明性を図ります 2. 広報誌やホームページを活用して、基本理念及び決算報告書を公開します 3. チェックリストを作成し、各委員会ごと、または各活動ごとに自己点検を行います 4. 業務改善会議を密に行います 5. 福祉車両を買替えます(車椅子対応) 6. 建物南側にインターロッキングを設置します(車椅子通行用) 7. 担当者会議や委員会を適宜開催するとともに、各種マニュアルの周知・徹底を図ります 8. 大型水洗機・大型乾燥機を買替えます
地域に根ざす施設	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を包括する公益的取り組みの推進を図ります ・施設機能を活用します ・地域の安全・安心への取り組みを行います 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生計困難者に対する相談支援事業を実施します 2. 生活困窮者就労訓練事業を実施します 3. 地域交流会を実施し、地域住民やボランティアの方との交流を図ります 4. 農作物等の販路を拡大し、地域とのつながりを密にします 5. 地域住民や消防団との合同防災訓練を実施します 6. 津波の際、地域住民の避難場所として施設を開放するとともに、災害に備え飲食物の備蓄を行います
組織力のある施設	<ul style="list-style-type: none"> ・業務標準化と統一した業務行動を行います ・期待する職員像の明確化を図ります ・福祉人材の定着を図ります ・総合的な人材の育成を図ります 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要に応じて各種委員会を設置します 2. 個別支援計画を充実させ、適切且つ効果的な支援を行います 3. ケース検討会議を随時行います 4. 年度初めに個人目標を立て、施設長との面談を交えながら目標達成に向けた業務を行います 5. 研修復命を行う機会を設けます 6. 各種公的資格の取得を奨励します 7. 年休を取得しやすい職場環境を構築し、心身のリフレッシュを図ります 8. ストレスチェックを年2回実施し、必要に応じてメンタルヘルスケアを行います 9. 各種研修に参加します 10. 他施設の見学を行います 11. 外部から講師を招き、施設内研修を実施します

行事予定

月	施設行事	月	地域行事等
4月	花見	4月	
5月	施設外レクリエーション(青島)	5月	
6月	ハイキング(花菖蒲祭り)	6月	市民一斉清掃
7月	慰霊祭、夏祭り	7月	住吉神社夏祭り
8月	なんでも相談	8月	北部地区盆踊り
9月	敬老祝賀会	9月	幼稚園慰問
10月	秋のレクリエーション(ボーリング、温泉他)	10月	住吉福祉まつり
11月	地域交流会、一泊旅行	11月	住吉地区総合防災訓練、市民一斉清掃
12月	クリスマス忘年会	12月	
1月	初詣、安全祈願祭	1月	
2月	なんでも相談	2月	住吉神社大祭
3月	ミニスポーツ大会	3月	
月例	誕生会、避難訓練、自治会、各種クラブ活動	月例	
随時	法要、利用者健康診断、保育園合同芋掘り、実習生・ボランティア受入れ	随時	保育園行事参加(餅つき、節分豆まき)、利用者就労先の各種行事参加

職員に関する事項

月例	職員会議、職員腸内菌検査、安全点検
随時	委員会・活動・事業ごとの会議、個別支援計画作成・実行、施設内研修参加、法人内外研修会参加、研修報告、法人内イベント参加、職員健康診断、職員旅行 ストレスチェック、合同防災訓練、AED講習、防犯講習、広報誌発行、ゴミ拾いウォーキング

定 員 82 名

事業について

- ・ 一時入所事業 … 生活困窮者等に対して緊急保護支援を行う
- ・ 居宅生活訓練事業 … 訓練用住居を利用し、より地域生活に近い環境で実体験的に生活訓練を行うことで、地域生活への移行を支援する
- ・ 居宅訪問事業 … 施設退所者、生活保護脱却後の人へのフォローアップを行う
- ・ 生活困窮者就労訓練事業 … 宮崎市自立相談支援センターと連携し、就労経験が少ない方や柔軟な働き方が必要な方に対して就労経験の場を提供することで一般就労に繋ぐ
- ・ 生計困難者に対する相談支援事業 … 宮崎県社会福祉協議会等と連携し、生計困難者等に対して相談支援や経済的援助を行うことで自立を支援する
(みやざき安心セーフティネット事業)

施設整備

- ・ 福祉車両買替え(車椅子対応)
- ・ 建物南側インターロッキング設置(車椅子通行用)
- ・ 大型水洗機・大型乾燥機買替え